

文の成分 主語と述語 1

文の主題となる文節（文の中で「何が（は）、だれが（は）」に当たる言葉）を主語といい、主語を説明するはたらきの文節（文の中で「どんなだ、どうする、何だ」に当たる言葉）を述語といいます。主語・述語は文節のなまえです。答えるときは文節単位で答えます。（例 ×わたし ○わたしは）

問 次の文の 部のことばは述語です。それに対する主語を（ ）に書き抜きなさい。

- 1 母の料理は とても おいしい。 ()
- 2 夏の太陽は きらきら かがやく。 ()
- 3 これは わたしの 兄が 作った 本箱です。 ()
- 4 秋には きれいな 花が 咲きました。 ()
- 5 美しい 月の 光が 地上を 照らす。 ()
- 6 白い ぼうしを かぶった 少年が 来る。 ()
- 7 秋は 読書に ふさわしい 季節です。 ()
- 8 大つぶの 雨が ぱらぱらと ふりだした。 ()
- 9 日本には 富士山と いう 美しい 山が ある。 ()